

普及項目	担い手
漁業種類等	刺し網
対象魚類	キビナゴ
対象海域	天草海

新規漁業就業希望者によるきびなご刺し網漁業体験について

天草広域本部水産課・向井 宏比古

【背景・目的・目標（指標）】

本県の漁村では漁業者数の減少が続いており、新規就業者の確保、育成が急務である。この対策として熊本県漁業就業支援協議会が設立され、国の長期研修支援制度を活用し、未経験の就業希望者を対象に長期研修を実施している。

長期研修を検討中の新規就業希望者に不安なく長期研修に入ってもらうため、研修開始前に当該漁業を体験する機会を用意した。

【普及の内容・特徴】

日時：令和5年(2023年)9月15日(金) 3:00～9:00

場所：天草市牛深沖、漁業者共同加工場、天草漁業協同組合牛深総合支所

参加者：新規漁業就業希望者2名

受入側：きびなご刺し網漁業者1名、天草漁業協同組合牛深総合支所1名、天草市水産振興課1名、熊本県水産研究センター1名、熊本県天草広域本部水産課1名

(1) 漁業体験

きびなご刺し網漁業者の漁船に乗船し、2回の操業の様子を見学した。参加者も漁獲したキビナゴの箱詰め作業を体験した。

(2) 加工作業体験

漁業者共同加工場において、漁獲したキビナゴの一部を釣り餌としてパック詰めする作業を体験。参加者は作業を通じて先輩漁業者と会話し、交流を深めた。

(3) 意見交換会

牛深総合支所事務所において、参加者及び受入側全員での意見交換が行われた。総合支所長からは「全力で応援するので、是非、牛深できびなご刺し網漁業者になってほしい。」と熱心な勧誘があった。

当水産課は熊本県漁業就業支援協議会の作業部会メンバーとして、上記漁業体験についての地元漁協との連絡調整等を行った。

【成果・活用】

漁業体験後、参加者からは「体験することで漁業の世界に飛び込んでいく不安がやわらいだ。」との声が聞かれた。

漁業体験により今後研修する漁業のイメージがつかめ、長期研修申し込みにつながった。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）は、ほぼ達成できた（76～100%）



図1 キビナゴ刺し網漁業体験



図2 水揚げ状況



図3 水揚げ状況



図4 釣り餌作り状況



図5 完成した釣り餌

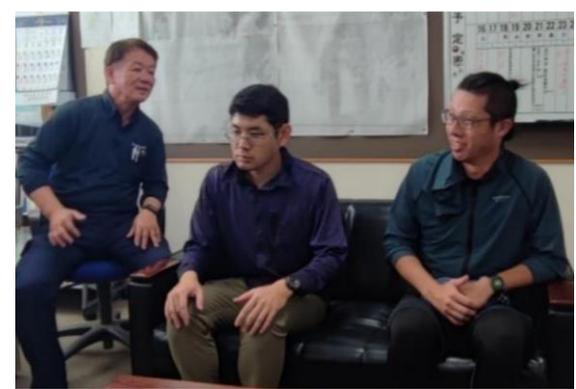


図6 支所長との意見交換



図7 市場見学